

# キッチンセットの交換を伴う対面化改修の対象について

本事業におけるキッチンセットの交換を伴う対面化改修（以下、「対面化改修」という。）は、改修『前』と改修『後』にそれぞれ要件があり、前後の要件を満たす対面化改修に限り補助の対象となります。本資料は、当該要件の明確化を目的として作られたもので今後、適宜更新される可能性があります。ご注意ください。

	改修『前』の要件	改修『後』の要件
必須設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>給排水に接続したシンク※1を<b>有する</b></li> <li>シンクまたはコンロと一体的に隣接する調理台を<b>有する</b></li> <li>コンロ（埋め込み式に<b>限らない</b>）を<b>有する</b></li> <li>コンロの上部に、調理専用の換気設備を<b>有する</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給排水に接続した<b>新しい</b>シンク※1を<b>設置する</b></li> <li>シンクまたはコンロと一体的に隣接する<b>新しい</b>調理台※1を<b>設置する</b></li> <li><b>新しい</b>コンロ（埋め込み式に<b>限る</b>）を<b>設置する</b></li> <li>コンロの上部に、調理専用の<b>新しい</b>換気設備を<b>設置する</b></li> </ul>
レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンク、調理台、コンロにそれぞれ正対して立った位置から、左右90度を見渡した時に、リビングとダイニングの両方またはいずれかの過半を視認することが<b>できない</b>。または、視認することができる位置が<b>1箇所</b>である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンク、調理台、コンロにそれぞれ正対して立った位置から、左右90度を見渡した時に、リビングとダイニングの両方またはいずれかの過半を視認することができる位置が<b>2箇所以上</b>ある</li> </ul>
提出書類	すべての提出が必須です。（写真は1枚以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>写真①：必須設備近影（各設備ごと）</li> <li>写真②：必須設備全景（全設備の位置関係が確認できるもの）</li> <li>写真③：過半を視認できないことが確認できる写真</li> </ul>	すべての提出が必須です。（写真は1枚以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>写真①：必須設備近影（各設備ごと）</li> <li>写真②：必須設備全景（全設備の位置関係が確認できるもの）</li> <li>写真④：過半を視認できることが確認できる写真</li> <li>平面図※2：キッチンとリビングとダイニングの位置関係が確認できること（要縮尺）</li> <li>立面図※2：必須設備と吊り戸棚等、その配置が確認できること（要縮尺）</li> </ul>

かつ

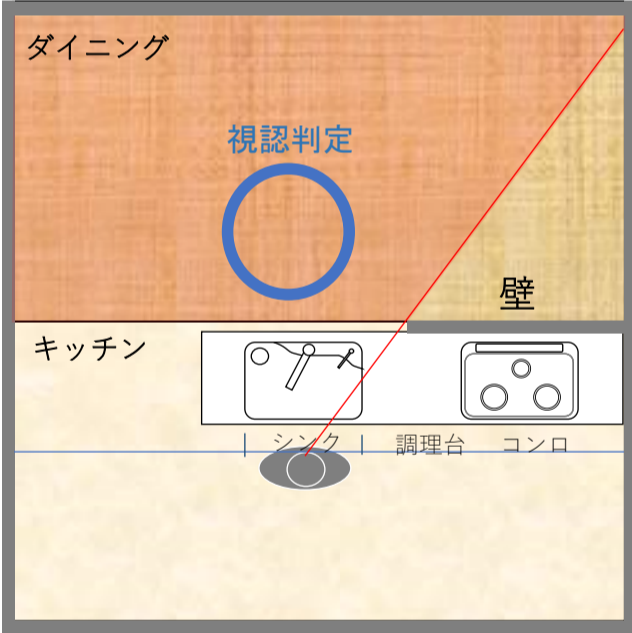
※1 W300mm×D300mm以上のものに限りです。

※2 提出する図面は、PDFファイル形式で保存したものを提出してください。縦横比がずれていたり、歪んでいる図面等は、縮尺が正しく表現されないため受付できません。

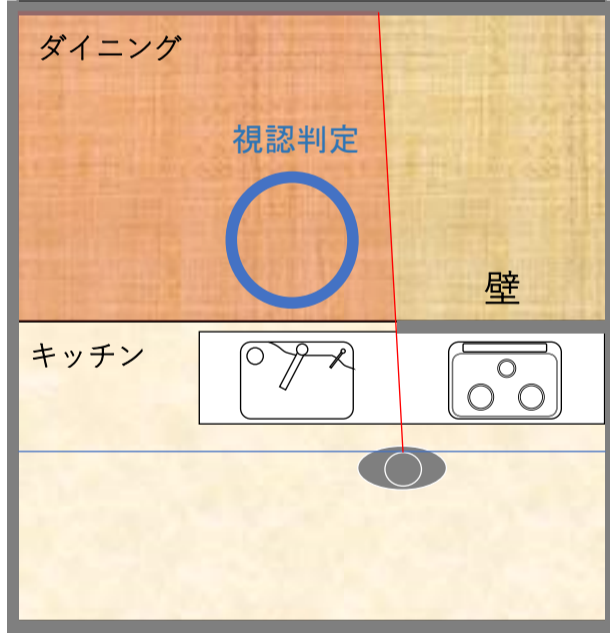
## 【補足1】改修後、過半を視認することができる位置が2箇所以上あるとは？

### パターン1 I型キッチンでコンロの正面に壁がある場合

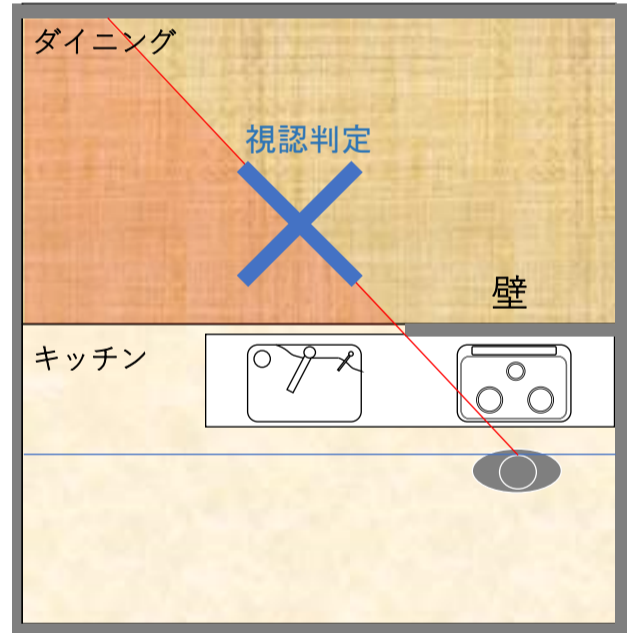
シンクからダイニングを見た場合



調理台からダイニングを見た場合



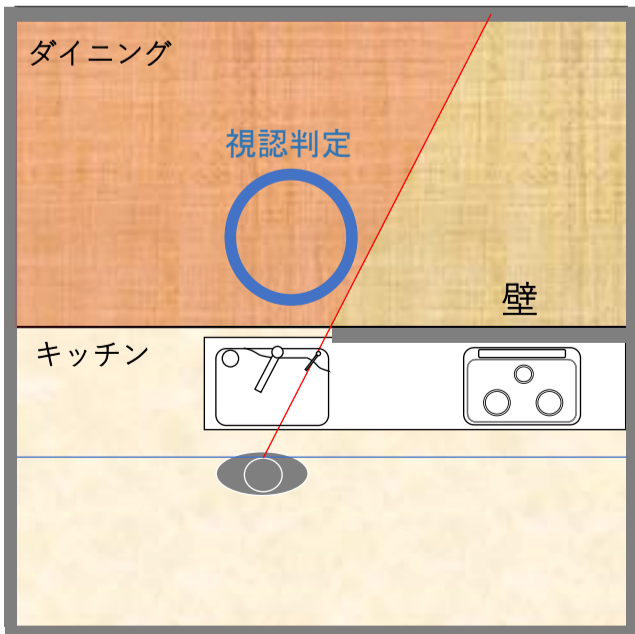
コンロからダイニングを見た場合



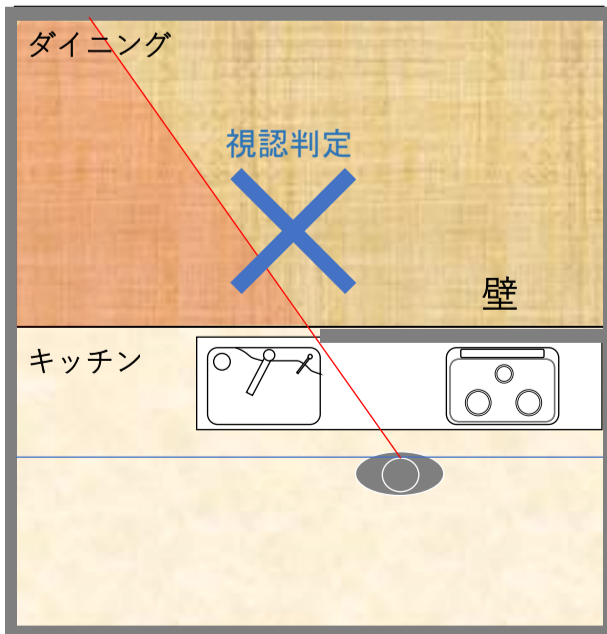
対面化改修後、シンク・調理台・コンロの3箇所の内、2箇所から過半を視認できる ⇒ **○ 補助対象**

### パターン2 I型キッチンで調理台とコンロの正面に壁がある場合

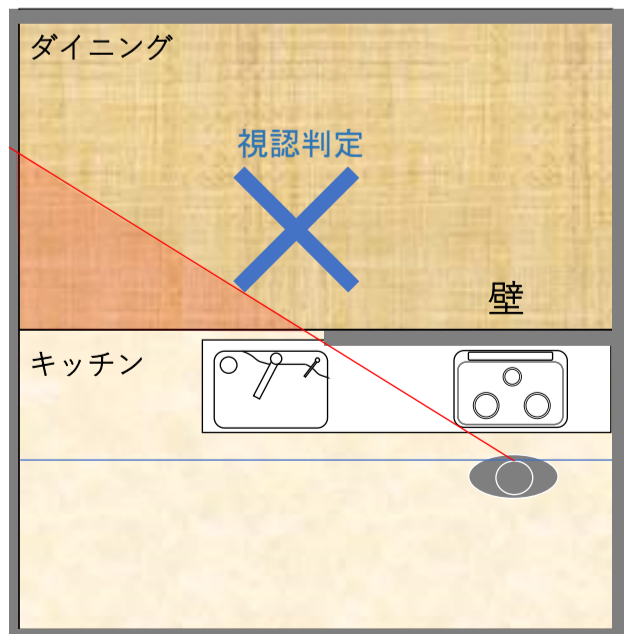
シンクからダイニングを見た場合



調理台からダイニングを見た場合



コンロからダイニングを見た場合



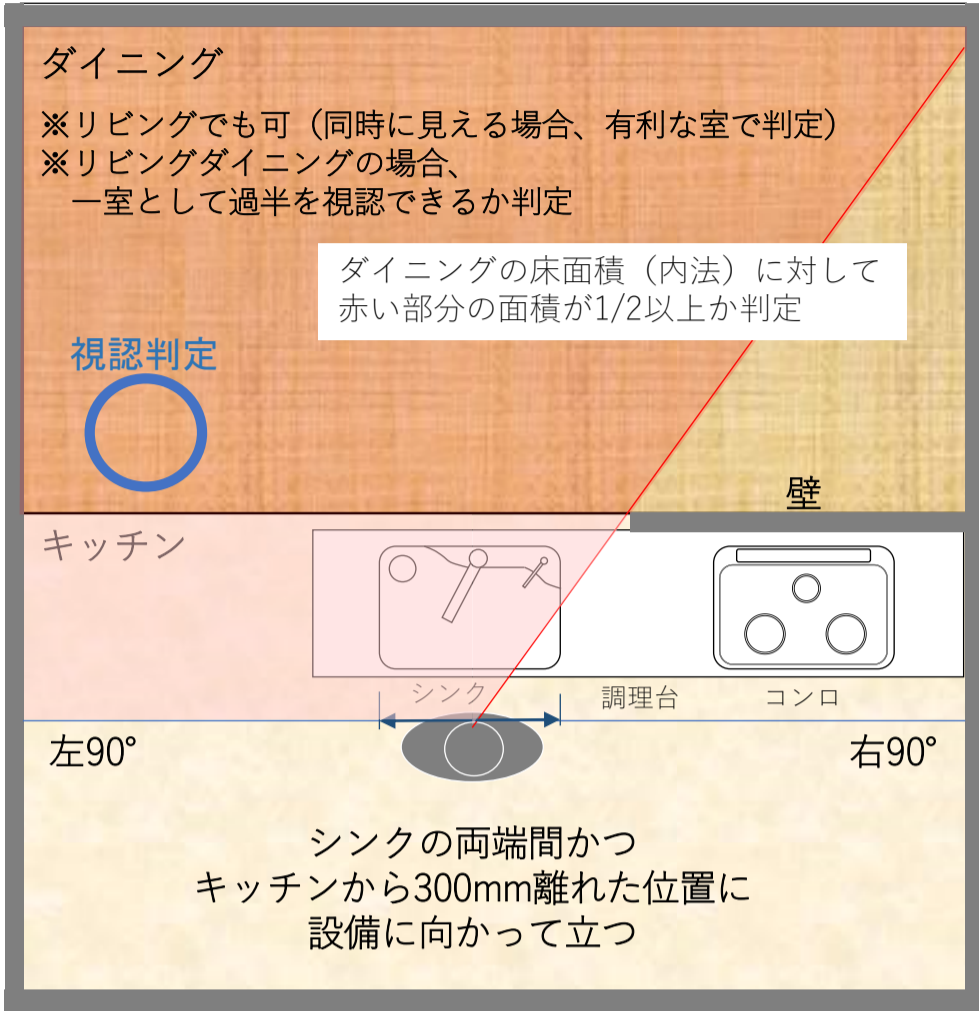
対面化改修後、シンク・調理台・コンロの3箇所の内、1箇所から過半を視認できる ⇒ **× 補助対象外**

# キッチンセットの交換を伴う対面化改修の対象について

## 【補足2】「シンク、調理台、コンロにそれぞれ正対して立った位置から、左右90度を見渡した」とは？

それぞれの設備からの視認エリア（赤い部分）は下のイラストに例示するとおりです。

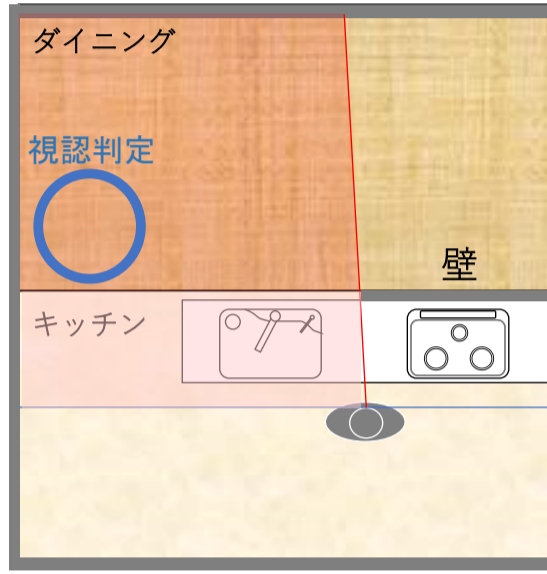
《平面図》シンクからダイニングを見た場合



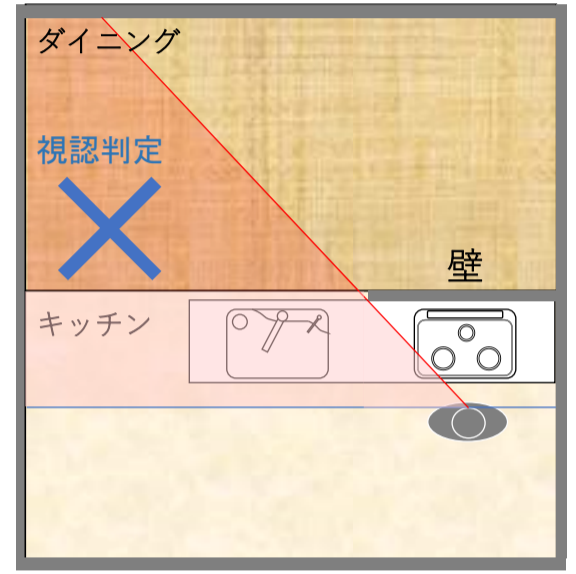
以下のような障害物については考慮する必要はありません。

- ・移動や取り外しが可能な植栽、家具、衝立、照明設備等
- ・可動式の壁、間仕切り、スクリーン等
- ・視認の妨げにならない透明なガラスを使用したドア、壁等（すりガラスやガラスブロックを利用したものは不可）

調理台からダイニングを見た場合



コンロからダイニングを見た場合



《立面図》キッチン側から見た場合



※ 設備の配置が確認できる立面図は必須です。

※ リビングやダイニングがキッチンと異なる高さ（ロフトや中二階等）にある場合、設備からの視認エリアの確認のため、建築時の立面図を求めることがあります。

## 【補足3】リビングとダイニングの定義

本事業では、以下に該当する居室をリビングおよびダイニングと呼びます。

	定義	対象外の例
リビング (L)	家族が集まり、くつろぐために継続的に使用し、壁、ドア及び建具で区切られた、ダイニングから独立した空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 居室に該当しない空間（廊下、階段、倉庫、納戸等）</li> <li>× 屋外の空間（ウッドデッキ、アウトドアリビング）</li> </ul>
ダイニング (D)	家族が食事をするために継続的に使用し、壁、ドア及び建具で区切られた、リビングから独立した空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 居室に該当しない空間（廊下、階段、倉庫、納戸等）</li> <li>× 屋外の空間（ウッドデッキ）</li> </ul>
リビングダイニング (LD)	リビングとダイニングが一体となった、壁、ドア及び建具で区切られた空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 居室に該当しない空間（廊下、階段、倉庫、納戸等）</li> <li>× 引戸や可動式の壁により区切られたリビングとダイニング（仕切りがある場合、別の居室として扱います）</li> </ul>



# キッチンセットの交換を伴う対面化改修の対象について

## 【補足4】改修前のキッチンのレイアウト

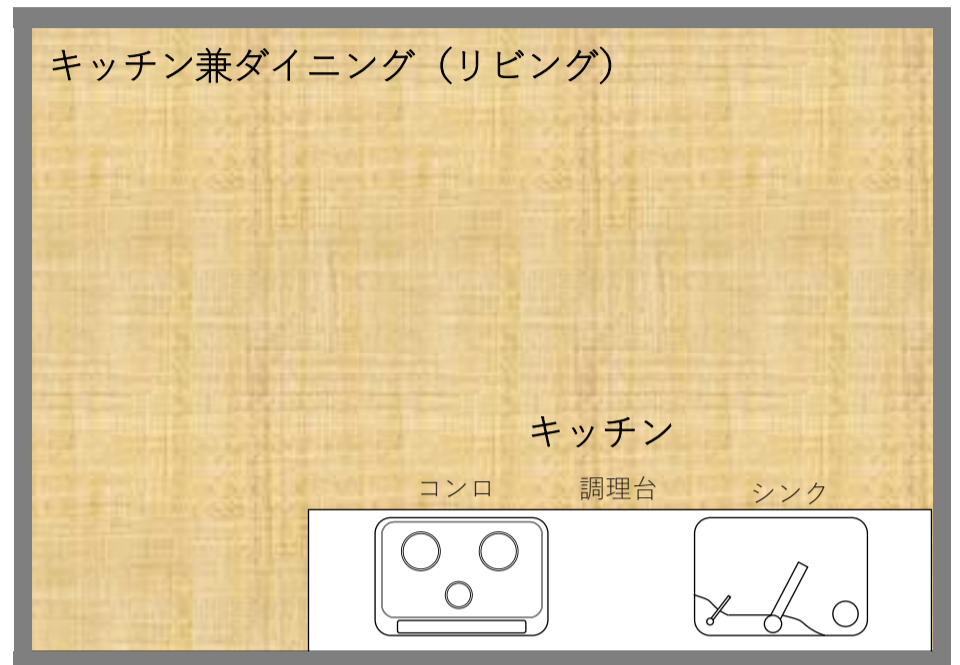
補足1、2を踏まえ、改修前のキッチンセットは、シンク、調理台、コンロのうち2箇所以上が壁を面して設置されていることが前提となります。以下の①と②以外は、原則補助の対象になりません。

### 補助対象となる改修前のレイアウト例

① 独立した居室に設置されたキッチンセット



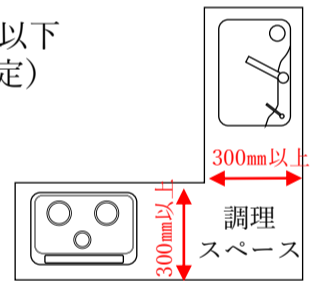
② ダイニング(リビング)の一角にあり、ダイニング(リビング)を背にして壁に面しているキッチンセット



## 【補足5】必須設備の具体例

必須設備の対象可否について、問い合わせが多いものを例示します。

	改修前 (○：対象の例、×：対象外の例)	改修後 (○：対象の例、×：対象外の例)
シンク	× 手洗い (単槽式でW300mm×D300mm以下)	× 手洗い (単槽式でW300mm×D300mm以下)
調理台	× シンクまたはコンロから独立したキッチンカウンター × ダイニングテーブル ○ 調理スペースがW300mm×D300mm以下	× シンクまたはコンロから独立したキッチンカウンター × ダイニングテーブル × 調理スペースがW300mm×D300mm以下 (L字の場合、2方向の奥行きで測定)
コンロ	× カセットコンロ ○ 据置き型のコンロ (ガステーブル、IH式を含む)	× カセットコンロ × 据置き型のコンロ (ガステーブル、IH式を含む)
換気設備	× 全館換気システム	× 全館換気システム



## 【補足6】提出する写真のイメージ

写真①：必須設備近影(各設備ごと)



写真②：必須設備全景(全設備の位置関係が確認できるもの)



写真③：過半を視認できないことが確認できる写真(補足4参照)



写真④：過半を視認できないことが確認できる写真 (補足1、2参照)



改修前の写真を撮り忘れた場合、原則、補助対象外となりますので、忘れずに撮影してください。